

講義コード	201008G
講義科目名称	国際関係論【作業療法】
英文科目名称	International Relations Theories
講義期間	前期
学科	適用ーリハビリテーション学科作業療法学(2023)
配当年	1
単位数	2
科目必選区分	選択
担当教員	天野 修司
曜日・時限	前期 木曜日 3時限 3 1 1 教室
関連するディプロマポリシー	DP① DP② DP⑥

授業概要	近年、国際情勢は、緊迫の度合いを増している。果たして、これから、世界は、どうなるのか？ そのような疑問に答えを出すことができる唯一の学問が、「国際関係論」である。その知識を使えば、世界の「今」を正しく理解することはもちろん、ある程度、起こりうる「未来」を予測することも可能になる。 本講義の前半部分では、国際関係論の基礎的な知識を身につける。後半部分では、ロシアによるウクライナ侵攻、米中対立、台湾問題、日韓関係、北朝鮮による核・ミサイル兵器開発などの時事問題について考察する。
学修の到達目標	本講義を通じて、学生自身が、自らの力で、国際情勢を正確に分析できるようになることが目標である。
予習・復習の内容およびそれに必要な時間	予習：毎回の授業で、新しい知識を身につけるので、予習は必要としない。 復習：新聞やテレビ、ネットなどで、世界のニュースを確認し、授業の内容との関連性について考える（45－60分）。 中間レポートおよび最終レポートの作成に向けて、教科書を使って知識を整理する（30分）。
成績評価の方法・基準	毎回のレポート課題（60％）、中間レポート課題（20％）、最終レポート課題（20％）で評価する。
試験・レポート等に対するフィードバックの方法	中間レポートのフィードバックとしては、学生が書いたレポートの内容を授業のなかで取り上げて、解説する。毎回のレポート課題および最終レポートについては、NIMSポータルでフィードバックを行う。

教科書					
No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.	地政学だけではわからない シン・国際関係論	天野修司	イースト・プレス	2022	978-4781621036
2.					
3.					

参考図書					
No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.					
2.					
3.					

教員からのメッセージ	本講義では、複雑な理論を多く学ぶため、毎回、意欲を持って授業に参加することが基本となる。グローバルな課題についての理解を深め、国際的な感性を持った医療人になろう。				
実務経験の内容及び経験に関連する授業内容	実務経験の有無:				
その他					
参考URL	表示名:				
	URL:				
授業方式	オンライン授業	対面授業	併用		
		○			

授業計画	回数	テーマ	各回の内容・到達目標
	1	イントロダクション	国際関係論の全体像と現代的な意義を考察する
	2	国際関係論の萌芽	国際関係論の思想的起源を理解する
	3	繰り返し起きる戦争	戦争が、常に同じようなパターンで起きていることを理解する
	4	2つの世界大戦	2つの世界大戦を経て、国際関係論が体系化されたプロセスを理解する
	5	中間レポート	中間レポートの作成を通じて、戦争が起きるメカニズムを理解する
	6	中間レポート	中間レポートの作成を通じて、戦争が起きるメカニズムを理解する
	7	バランス・オブ・パワー理論	バランス・オブ・パワー理論の妥当性について考察する
	8	核抑止の理論	核抑止の理論の妥当性について考察する
	9	デモクラティック・ピース理論	デモクラティック・ピース理論の妥当性について考察する
	10	国際レジーム論	国際レジーム論の妥当性について考察する
	11	ゲーム理論	ゲーム理論の妥当性について考察する
	12	実践演習	実践演習を通じて、世界の今を正しく理解する
	13	ポスト・コロナの世界	国際関係論を用いて、ポスト・コロナの世界を分析する
	14	最終レポート	最終レポートの作成を通じて、国際関係論の妥当性について考察する
	15	最終レポート	最終レポートの作成を通じて、国際関係論の妥当性について考察する